

# JOYO BANK NEWS LETTER

2021年9月9日

## 茨城県のIT人材育成事業（いばらきP-TECH）への参画について

常陽銀行（頭取 笹島 律夫）は、このたび、茨城県が一般社団法人 茨城県経営者協会および日本アイ・ビー・エム株式会社（以下、「日本IBM」）と開始したIT人材育成事業「いばらきP-TECH」に、パートナーシップ企業の第一号として参画しますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 背景および目的

コロナ禍等によるデジタル化の急速な進展に伴い、お客さまの業務においてデジタル化対応が急務となる一方、それを担うIT人材の確保が大きな課題となっています。

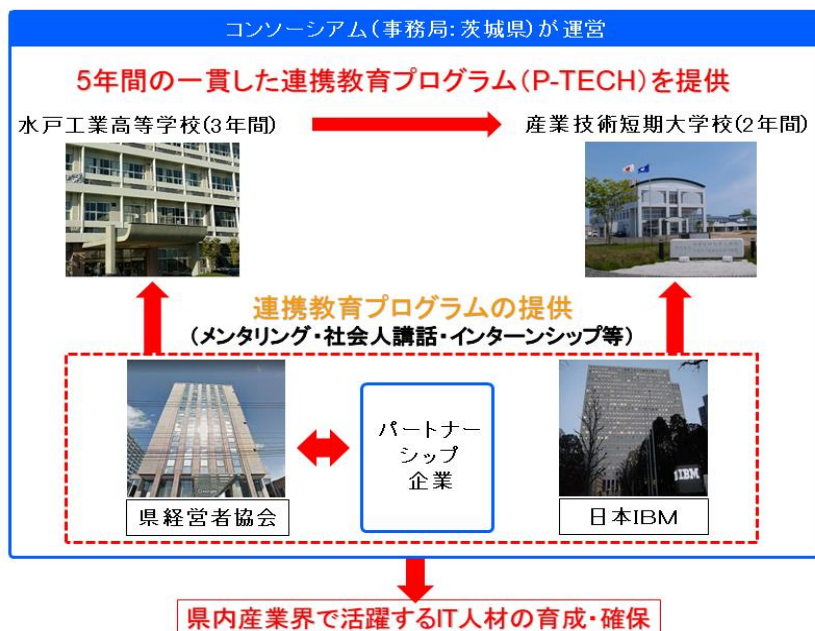
当行は、これまで行員のITスキルの底上げやIT分野における専門人材の育成等※に取り組むとともに、当行グループ会社や外部のIT事業者と連携して最適なソリューションを提供することで、お客さまのデジタル化を支援してきました。

こうした取り組みの一環として、茨城県内において活躍できるIT人材の育成・確保を目的とする「いばらきP-TECH」の主旨に賛同し、パートナーシップ企業として参加することとしました。

※当行のIT・デジタルトランスフォーメーション人材育成の取り組みについては、別紙をご参照ください。

### 2. 「いばらきP-TECH」の概要

「いばらきP-TECH」は、茨城県、茨城県経営者協会、日本IBMおよびパートナーシップ企業が連携し、県立高等学校（第一弾として水戸工業高等学校にて実施）と県立産業技術短期大学校（IT短大）の5年間を通して、一貫した連携教育プログラムを提供し、県内産業界で活躍するIT人材の育成に取り組めます。



#### <パートナーシップ企業の取り組み>

- ・生徒、学生へのメンタリング
- ・社会人講話への講師派遣
- ・職場訪問の受入
- ・インターンシップの受入
- ・就労機会の提供 など

当行は、今後とも、IT人材の育成に取り組む、最適なソリューションを提供することを通じて、お客さまおよび地域社会のデジタル化を積極的に支援してまいります。

以上

## 当行におけるIT・デジタルトランスフォーメーション(DX) 人材育成の取り組み概要

当行では、ITやデジタル技術の活用など、お客さまの多様なニーズや課題に対して、最適なソリューションを提供するため、行員のITスキルの底上げおよびITコンサル専門人材の育成、本部DX人材の育成に取り組んでいます。

### 当行全体のITスキルの底上げ

- ITに関する資格(ITパスポート、ITコーディネータ)等の取得推奨
- ITに関する知識習得機会の推奨(DX関連通信講座受講、本部トレーニーの実施)
- DXに関する行内資格取得に向けたカリキュラム実施・認定

### ITコンサル専門人材の育成

- 外部トレーニーおよび本部トレーニー先におけるOJTの実施
  - グループ会社所属のITコーディネーターとの連携したOJTの実施
- 上記プログラムやトレーニー終了後、習得した知識を活かせる本部に配属

### 本部DX人材の育成

- 本部DX人材育成プログラムの実施
    - ・外部講師による研修(業務デジタル化、データ活用、アイデア創出等各ワークショップ)
    - ・eラーニング受講
    - ・個人デジタル習熟度を測る人材アセスメントツールの受験
  - IT分野への本部トレーニーの実施
    - ・本部においてDX関連業務に従事
    - ・eラーニング受講(EXCEL・MCIF基礎研修)
- 上記プログラムやトレーニー終了後、習得した知識を生かせる本部や外部トレーニー等環境を用意